

**開校51年目の富士見小学校 合言葉は「笑顔・自分・元気」****1 学校経営に関する基本理念**

「学校は児童を伸ばすところである。」

人間として調和のとれた児童を保護者・地域とともに育成する。

2 校訓 学校教育目標

仲よく	(徳)	ともに高めあう子
考え	(知)	進んで、学ぶ子
がんばろう	(体)	心身ともに健康な子

3 目指す学校像

笑顔があふれ、自分から進んで取り組み、元気いっぱいの学校

～学校・家庭・地域が協調・協働して未来を創る児童を育てる～

4 目指す児童像

■本年度の合言葉は「笑顔・自分・元気」

(1) 仲よく (徳) 「笑顔があふれる」

- ・きまりを守る・相手の気持ちや立場を考えて行動できる
- ・家族、友達、学校、地域を大切にする

(2) 考え (知) 「自分から進んで取り組む」

- ・話をよく聞く・自ら考え、互いに伝え合う・自主的に学習できる

(3) がんばろう (体) 「元気いっぱい」

- ・基本的な生活習慣を身に付ける・時間いっぱいがんばる・力いっぱい運動できる

小中連携「当たり前のことが当たり前にできる児童」 狭山台中 当たり前のこと十か条

- ① 明るいあいさつ元気な返事 ② 人の話をしっかり聞く ③ 思いやりの心 ④ 時間を守る ⑤ 正しい服装 ⑥ 整理整頓 ⑦ 正しい言葉遣い ⑧ 自分の役割を果たす ⑨ 無言清掃 ⑩ 時と場に応じた行動

5 目指す教職員像

教職員の使命と誇りに関するキャッチフレーズ「埼玉県教職員 MOTTO (モットー)」

未来を創る、こどもたち。未来を育てる、わたしたち。

(1) 児童・保護者・地域・から信頼される教師

- ・社会人として好感をもたれる丁寧な対応・接遇 (あいさつ、表情、態度、服装、電話対応等)
- ・自らの健康管理 (仕事と生活の調和)
- ・教育公務員としての自覚・行動

(2) 児童へ安全・安心を提供できる教師

- ・子供にとって、安全な教育環境の整備 (児童目線の安全点検)
- ・いじめ、仲間外れのない人間関係づくり
- ・子供の声を聴く

(3) あきらめずに粘り強く寄り添える教師

- ・授業で勝負する (児童理解、教材研究、分かる授業の実践)

- ・学校課題研修、初任者研修へのかかわりを通して、自らの授業力向上を図る
 - ・子供の良さ・頑張りを称賛する（美点凝視）
- （４）学校経営への参画意識を持ち、行動できる教師
- ・学校教育目標の具現化を目指す
 - ・組織を生かした報告・連絡・相談
 - ・共通理解・共通行動（子供にとって見通しのある教育活動を保障）
 - ・学年組織を生かした足並みをそろえた学年経営

6 指導の重点

（１）豊かな心の育成（仲よく）「笑顔があふれる」

- ① 生徒指導・教育相談の充実
 - ・不登校児童への対応・・・学校全体で取り組む
 - ・情報の共有、迅速な対応
 - ・真面目な生活態度の確立（善い行いを称賛・認める）
 - ・さやまっ子相談員、スクールカウンセラーとの連携
 - ・もくもく清掃
- ② 児童の笑顔があふれる学級づくりを
 - ・児童一人一人の活躍の場を確保し、自己肯定感を育むと共に、児童同士、児童と教師の信頼関係の構築を目指す。
 - ・Ｑ－Ｕアンケート（年２回）の有効活用を図る。学級の実態を客観的に把握し、情報を学年内で共有し、良好な人間関係の育成に努める。
- ③ 「特別の教科道徳」の授業の充実
 - ・人権意識の向上・・・いじめ解消率１００パーセントを目指す
 - ・指導過程を工夫して、考える道徳の推進を図る。
- ④ 特別活動の充実
 - ・自己有用感を味わわせる学級活動（係・当番活動、学級会）
 - ・異年齢集団との関わり（縦割り活動、委員会活動、クラブ活動）
- ⑤ 体験活動の充実
 - ・生活科、総合的な学習の時間の充実
 - ・地域素材の活用や地域人材との交流
- ⑥ 特別支援教育の充実
 - ・特別支援学級との交流の推進
 - ・配慮を要する児童への教育支援プランの活用
 - ・ユニバーサルデザインを意識した授業の構築

（２）確かな学力を育む教育活動（考え）「自分から進んで取り組む」

- ① 学習規律の徹底・定着
- ② 基礎的・基本的な学習内容を明確にして指導にあたり、基礎基本の定着を図る。
- ③ 主体的・対話的で深い学びの実践（茶レンジ・プラン提言５）
 - ・意見を交流させる場と時間の確保
- ④ 児童が学びを実感できる授業の展開（茶レンジ・プラン提言６）
 - ・１単位時間の授業の充実（ねらいの明確化、児童が自ら考える時間の確保、まとめを自分の言葉で）
- ⑤ 一人一台のタブレットを活用した授業改善

⑥ 専科教員による英語科授業の充実・外国語活動の推進

(3) 安全・健康・体力の育成(がんばろう)「元気いっぱい」

① 安全・安心な学校

- ・交通安全指導の徹底
- ・安全点検の確実な実施、不審者対応安全指導の徹底

② 健康の基本である体力の向上

- ・学校課題研修を通して体育授業の充実と運動量の確保
- ・早寝早起き朝ごはんの推進
- ・望ましい食習慣の確立

(4) 家庭・地域との連携・協力～開かれた学校づくりの推進～

① コミュニティースクールの推進(狭山台中学校区での学校運営協議会 R2 年度より)

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組み。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができる。

【学校運営協議会の主な役割】

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる

② PTA、お父さんの会との協力体制・学校応援団の積極的な活用

③ 様々な家庭環境を理解し、子供の変化や良さ、成長を積極的に伝える。

④ テーマのある懇談会を実施し、子供の成長の視点を共有する。

⑤ 学校だより、学年だより、ホームページ、スクリレ等で情報を発信する。

⑥ 地域への計画的、積極的な参加を図る。

7 働き方改革の推進

■教職員が笑顔で子供たちと向き合うために

(1) ICT環境の有効利用

- ・校内サーバを活用した情報の共有化(授業の資料、行事の資料等)
- ・Te-comp@ss の利活用(メールのテキスト機能の活用、・・・)
- ・ペーパーレス化

・Teams(会議)やForms(アンケート集計)の活用

(2) 会議や話し合いの効率的な運営

- ・事前に資料の提示。話し合う内容の明確化。
- ・話し合いの時間の提示。

(3) 在校時間を意識した働き方を

- ・7時に開錠 19時までに施錠
- ・第3水曜日はノー残業デー、毎月21日前後はふれあいデー(18時に施錠)
- ・電話受付時間 7:30~18:00(18:00~翌朝7:30まではメッセージ対応)
- ・長期休業中は、8時過ぎ開錠 17時施錠

(4) 富士見小リフレッシュ休暇の実施

- ・年間1人1日、授業日に年休を取得する。
- ・年度当初に学年内で重ならない日や行事日程を勘案して計画的に取得する。

埼玉県教育局

学校における働き方改革基本方針

【目標値】

教員の在校等時間の超過勤務の上限を「公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン(文部科学省)」で規定された

「原則 ①月45時間以内